



第 11 章

姉妹都市交流

ストニイプレイン町との交流
国内都市交流

ストニブレイン町との交流

企画課調

【ストニブレイン町の概要】

■位置

カナダ・アルバータ州の州都エドモントンの西17k mに位置

■人口

17,993人(令和2年)

■基幹産業

農業(菜種、小麦、大麦、レンズ豆、西洋なし等)
※その他州都エドモントンへの通勤者も多い

■鹿追町との姉妹提携

昭和60年8月26日

■交流内容

昭和57年と昭和59年の2回にわたる本町の北方圏派遣事(本町と気候、風土が似ている北方圏地域に暮らす人々との交流事業)が交流の始まりです。その間、ストニブレイン町のアイスホッケーチームが来道の際、本町に立ち寄り友好を深め、当時のコッチ町長より提携を希望する親善がよせられたのがきっかけとなって、姉妹提携が結ばれました。

昭和62年からは中・高校生を対象とした留学制度が設けられ、平成8年度から毎年両町から派遣をし、また、一般者の派遣も活発に行われています。

平成9年1月からは鹿追高等学校派遣事業で、同校1年生希望者全員をストニブレイン町へ短期留学生として送り出し、日本文化の紹介や交流を図り、国際理解教育を推進しています。

平成20年4月には、姉妹締結当初から両町の架け橋として尽力されてきた元ストニブレイン町長ドナ・コーワン氏が、姉妹都市交流に対する貢献をたたえられ、特別町民栄誉彰を受章しています。

平成22年、本町との姉妹提携25周年を迎え、双方で記念行事が開催されました。また同年5月、ストニブレイン町との創意と工夫に富んだ交流の取り組みが評価され、第4回姉妹自治体交流表彰において総務大臣賞を受賞しました。

平成27年に姉妹提携30周年を迎え、チョイ町長をはじめとする15名の記念訪問団を迎え、記念式典及び祝賀会が開催されました。また、同年から相互住民長期滞在体験事業が実施され、ストニブレイン町の住民が鹿追町に滞在し、英会話教室や学校を訪問することで、町民との交流を深めています。

令和2年に姉妹提携35周年を迎え、各種記念行事を予定していたところですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催は延期となっております。

令和3年9月に開催された鹿追町開町100年記念式典には、ストニブレイン町からオンラインで関係者が出席され、友好発展に大きく寄与されたストニブレイン町長ウィリアム・チョイ氏に特別顕彰が贈呈されました。

令和4年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止していた鹿追高校カナダ短期留学派遣事業が3年ぶりに行われ同校2年生希望者全員が派遣されました。

令和5年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止していたストニブレイン町短期留学生等友好訪問団受入事業や相互住民長期滞在事業が4年ぶりに再会し、11名の訪問団と3組5名の受け入れを行い、町民との交流を深めました。

■各事業について(延べ人数で記載)

- ・友好訪問団派遣事業
S57 - R5 18回 229名
- ・鹿追高校カナダ短期留学派遣事業
S62 - R5 31回 学生1,682名 引率243名
- ・ストニブレイン町短期留学生・友好訪問団受入事業
S61 - R5 39回 410名
- ・鹿追町・ストニブレイン町相互住民長期滞在体験事業
H27 - R5 20名 871日

国内都市交流

長崎県鹿町町との交流(平成22年3月姉妹提携解消)

【鹿町町の概要】

企画課調

■位置

九州長崎県の西端に位置

■人口

5,250人(平成22年1月末)

■鹿追町との姉妹提携

平成9年10月1日

■交流内容・歴史

本町と長崎県鹿町町との姉妹提携は、同町町制施行50周年を契機に、平成9年1月同町からの申し入れがあり、同年10月1日鹿町町文化会館で調印式が行われ、姉妹都市交流がスタートしました。

本町と鹿町町は、日本列島の北と南に位置し、地勢(山と海)と気候風土、自然環境の特性の中で、違いを活かした交流を展開しました。

両町の町名は「鹿を追う」(鹿追)、「鹿を待つ」(鹿町)に由来します。

平成10年、鹿町町、南伊豆町、鹿追町の青年が一堂に集い、「平成10年度鹿追町青年サミット」が開催されるなど、青少年のほか、商工業関係者、文化連盟関係者など相互訪問による交流、地場産品・特産物の流通・販路拡大による経済交流が進められましたが、平成22年3月30日、鹿町町は佐世保市への編入合併のため閉町を迎え、13年間続いた鹿追町との姉妹提携を解消、鹿町町は、鹿町村から続いた121年の長い歴史に幕を閉じました。

■基幹産業

真珠、鯛、ふぐなどの養殖

■姉妹提携解消

平成22年3月30日
(平成22年3月、両町議会議決)

東京都台東区との交流

【台東区の概要】

■位置

東京23区を中心よりやや東側に位置

■人口

214,367人(令和6年5月)

■鹿追町との提携協定

平成29年3月22日

■交流内容

本町と東京都台東区との交流は、平成10年に浅草三社祭で神輿を担いだ交流を起源としています。

平成18・19年には浅草寺前での鹿追物産展を開催し、また平成24年からは東京都台東区児童派遣事業として、町内小学6年生15名が台東区内等で文化や歴史を学んでいます。

また、平成28年には台東区を含む都内の児童9名を受け入れ、野外活動や民泊などを体験しています。

以降、芸術・文化交流・経済交流など積極的に展開されている中、台東区との交流事業の更なる活性化、持続的成長を図り、交流を促進することを目的に平成29年3月、産業・環境の分野での連携協定を締結しました。

令和3年3月には災害時相互応援協定、令和4年4月には文化・観光施設割引利用事業に関する協定を締結しました。